

## 広島市立安佐市民病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください

研究課題名	患者アンケート調査による前立腺全摘除術の QOL 評価
研究責任者 (所属科名)	泌尿器科 主任部長 三田耕司
本研究の目的・意義	<p>限局性前立腺癌に対する前立腺全摘除術は最も治療効果の高い根治療法の一つであることは疑う余地がないが、難易度の高い手技であり様々な周術期合併症が報告されている。術後高頻度に発生する周術期合併症には術後尿失禁、男性機能障害などがあげられ、本術式における癌制御と術後患者の生活の質 (Quality of Life: QOL) の完全な両立は現在も困難な課題となっている。</p> <p>一方、医療行為において医療者側のアウトカムの評価と患者側のそれには乖離が見られることが古くから指摘され医療者側のみの評価では詳細な解析は困難とされる。この問題を解決する手段として患者側の QOL を患者アンケート調査で評価する手法が広く用いられている。</p> <p>患者アンケート調査によって得られた患者側の QOL の情報を解析することは前述した前立腺全摘除術における癌制御と術後患者の生活の質の両立を目指した手術手技の改善において極めて重要な事項と考えられる。</p>
調査方法・調査期間	<p>調査方法：後ろ向き観察研究です。</p> <p>2012年3月1日から2018年12月31日までに広島市立安佐市民病院において対象期間に前立腺癌に対し前立腺全摘除術を施行された症例のうちアンケート調査にご協力いただいた方の情報を調査します。</p> <p>調査期間：2019年2月から2019年12月までです。</p>
該当資料・データ	<p>★対象となる患者様</p> <p>2012年3月1日から2018年12月31日までに広島市立安佐市民病院において対象期間に前立腺癌に対し前立腺全摘除術を施行された症例のうちアンケート調査にご協力いただいた方。</p> <p>★利用する情報</p> <p>アンケート調査結果、電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。</p>

個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会・学術論文で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は一切利用しません。
共同研究機関	なし
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	広島市立安佐市民病院 泌尿器科 主任部長 三田耕司 電話：082-815-5211（代表）
備考	